

---

### 編集後記

2022年5月後半になり、初夏の日差しに木々の緑が映えるこの頃、皆さま方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。コロナ禍は、未だ沈静化されていない状況ではありますが、炎天下ではマスクを外して歩く方の姿も見かけるようになりました。

初めての緊急事態宣言より3回目の夏を迎えようとしています。徐々にポストコロナの時代に入ってきているように感じられます。今年4月以降は、当方の大学でも大学教育プログラムは、対面授業が再開され、キャンパスにも賑わいもどろりつつあります。今まで多くの制約の中で凌いできた皆様、そして学生や教職員が、今後はより生き生きと勉学に励み、充実した活動ができるようになる事を願っております。

今号では、総説論文として、東京女子医科大学の平久美子先生の「防蟻工事におけるネオニコチノイド殺虫剤使用と健康障害」、短報として、山野裕美先生・遠藤智行先生の「病院施設の環境表面清浄化における次亜塩素酸水の活用」、講座として、東北大学の本堂毅先生の「感染抑制政策と経済」、報告として、「第29回日本臨床環境医学会学術集会を終えて」を掲載しました。

また、臨床環境医学会の活動の歴史に残していく上で、分科会活動報告、役員名簿・会則・「臨床環境医学」投稿規定等が継続的に掲載される事を望んでおります。

臨床環境医学雑誌を継続的に発行していく事は、非常に大事なことだと思いますので、原書、総説、英文、和文に関わらず積極的なご投稿をお願い申し上げます。

森 千里

---

<事務局からのお願い>

ご住所、ご所属が変わった場合には必ず下記までご連絡ください。

メールアドレス：kimura@is.icc.u-tokai.ac.jp FAX：0463-96-2892

---